

## 令和4年度予算に係る個別公共事業の評価書

令和4年3月 厚生労働省医薬・生活衛生局  
水道課

本評価書は、「厚生労働省における政策評価に関する基本計画（第4期）（平成29年3月31日厚生労働大臣決定）」及び「水道施設整備事業の評価実施要領（平成23年7月7日厚生労働省健康局長通知）」に基づき実施した個別公共事業の評価について、行政機関が行う政策の評価に関する法律（平成13年法律第86号）第10条の規定に基づき作成するものである。

### 1. 個別公共事業評価の概要について

#### （評価の対象）

厚生労働省医薬・生活衛生局水道課では、災害復旧に係る事業等を除く水道施設整備に係る国庫補助事業及び独立行政法人水資源機構が実施する事業（厚生労働大臣がその実施に要する費用の一部を補助するものに限る）を対象として、事前評価又は再評価を実施することとしている。

事前評価は事業の新規予算措置についての判断に資するため、事業費10億円以上が見込まれる事業に対して実施する。

再評価は事業の継続、中止、休止等の判断に資するため、事業採択後5年を経過して未着手の事業、10年を経過して継続中の事業（10年経過以降は原則5年経過ごと）、その他社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業に対して実施する。

また、水道水源開発のための施設（海水淡水化施設を除く）の整備を含む事業については、上記の評価に加え、本体工事又は本体関連工事の着手前の適切な時期に再評価を実施する。

#### （評価の観点、分析手法）

事業の評価を行う観点として、費用対効果分析を行うとともに、事業特性に応じて環境に与える影響等を含め、必要性・効率性・有効性等の観点から総合的に評価を実施する。また、費用対効果分析手法は、量一反応法、回避支出法等により行うこととしており、その考え方は、厚生労働省ホームページにより公表している「水道事業の費用対効果分析マニュアル」のとおりである。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/jouhou/other/o7.html>

#### （第三者の知見活用）

事業者は評価に当たり、原則として学識経験者等の第三者から意見を聴取するものとする。

### 2. 評価結果について

令和4年度予算に係る評価として、再評価9件を実施し、事業別の評価結果は別紙のとおり、個々の事業評価の内容については評価概要書（別添）のとおりである。

(別紙)

## 令和4年度予算に係る水道施設整備事業の再評価について

### 1. 概要

水道課では、個々の水道施設整備事業を対象に、平成23年7月7日厚生労働省健康局長通知「水道施設整備事業の評価実施要領」で定めるところにより、事業の継続、中止、休止等の判断に資するための評価（再評価）を実施することとしている。

### 2. 評価の実施時期

令和3年度

### 3. 評価結果

令和4年度予算に係る再評価として、別表のとおり継続8件、休止1件という結果を得た。事業の内訳については、次表のとおりである。

表 再評価結果内訳

事業区分	実施件数	結果			
		継続	休止	中止	見直し
簡易水道等施設整備事業	6	6	0	0	0
水道水源開発等施設整備事業	3	2	1	0	0
生活基盤施設耐震化等交付金	0	0	0	0	0
計	9	8	1	0	0

#### (1) 継続する事業

水道課では、公衆衛生の向上、生活改善の見地から安全で良質な水道水の安定的な供給を図るために、8事業の継続を決定した。

## 令和4年度予算に係る再評価結果一覧表

### 【簡易水道等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	補助金区分	事業名 (関連ダム名)	工期(年度)		総事業費 (千円)	便益(B)		費用(C) (千円)	B/C	その他の指標による評価	対応方針	備考
				始	終		総便益 (千円)	便益の主な根拠					
北海道	積丹町	基幹改良	生活基盤近代化事業	H26	R5	552,777	1,029,501	漏水損失額の低減 維持管理費の低減 減水被害の低減	789,057	1.30		継続	
北海道	上砂川町	基幹改良	生活基盤近代化事業	H18	R6	835,349	1,738,481	漏水損失額の低減 維持管理費の低減 減水被害の低減	1,600,377	1.09		継続	
沖縄県	恩納村	沖縄簡易水道 等施設整備費	恩納村水道事業	H18	R14	7,306,378	179,622,186	地震による断水被害の低減 漏水損失額の低減 維持管理費の低減	7,608,631	23.61		継続	
沖縄県	豊見城市	沖縄簡易水道 等施設整備費	豊見城市水道事業 (第6次拡張事業)	H24	R8	3,895,042	6,475,712	地震による断水被害の低減 維持管理費の低減	5,625,519	1.15		継続	
沖縄県	読谷村	沖縄簡易水道 等施設整備費	読谷村水道事業 (第6次拡張事業)	H24	R5	1,721,618	9,154,168	地震による断水被害の低減	2,268,327	4.04		継続	
沖縄県	石垣市	沖縄簡易水道 等施設整備費	石垣市第6次拡張事業及び第7次 拡張事業	H15	R17	27,000,990	76,579,112	地震による断水被害の低減	38,073,928	2.01		継続	

## 令和4年度予算に係る再評価結果一覧表

### 【水道水源開発等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	補助金区分	事業名 (関連ダム名)	工期(年度)		総事業費 (千円)	便益(B)		費用(C) (千円)	B/C	その他の指標による評価	対応方針	備考
				始	終		総便益 (千円)	便益の主な根拠					
秋田県	湯沢市	水道水源開発等施設整備費	湯沢市水道事業	H14	R8	260,352	-	減・断水被害回避便益	1,804,561	-	近年の急速に進む人口減少に起因する水需要の変化が顕著になるなど急激に経営環境が変化する状況にあり、それらの変化を踏まえた水需要予測を行い、今後も安定的な水道事業経営を維持するため強固な経営戦略が必要となることから、現在、新たな水道ビジョンを策定中である。新たな水道ビジョンに基づく水需要予測や経営方針を踏まえて、費用対効果分析等の評価を行い、事業の必要生を判断するのが妥当と考えられることから、新たな水道ビジョンが策定するまでは、事業を休止し、新たな水道ビジョンが策定後に事業継続の必要生を評価・判断することとする。	休止	
埼玉県	埼玉県企業局	高度浄水施設等整備費	高度浄水処理施設整備事業 (大久保浄水場・吉見浄水場)	R4	R12	100,000,000	306,799,307	水質改善費用の低減	164,062,436	1.87	【断水の回避】 ホルムアルデヒド前駆物質など、溶存有機物を原因とした水質事故による断水を回避できる。	継続	
千葉県	千葉県企業局	水道水源開発等施設整備費	非常用自家発電設備整備事業	R1	R6	10,740,000	52,988,926	地震被害の減少	22,264,839	2.38		継続	